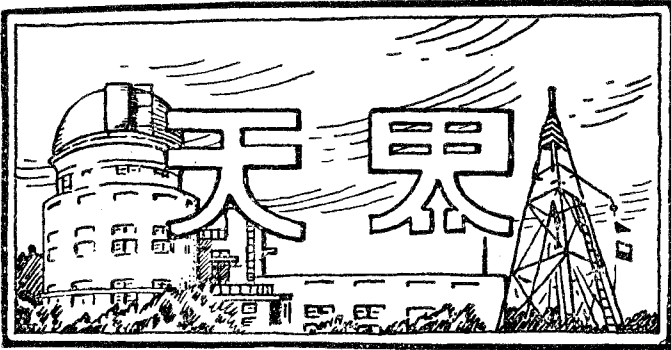


No. 170 THE HEAVENS

December 1932.

編輯 理學博士 山本一清, 理學士 竹田新一郎, 理學士 稻葉通義

第四百四十號 (第十二卷)



昭和七年十二月號

故中村要氏追悼號

要目

故中村要氏の近影……………(口繪寫眞)

中村要君を思ふ……………理學博士 山本一清 416

わが従弟要に代りて……………近江堅田 北村庸夫 429

遺稿と書信……………5篇…………… 437

故中村要氏の鏡面製作研究に就いて……………花山 木邊成麿 452

追憶……………27篇…………… 448

弔ひの言葉……………28篇…………… 501

本年十二月の天象…………… 515

天文同好會觀測部月報○流星○黃道光○太陽…………… 519

總會及び通信…………… 525—528

大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可(毎月一回二十五日發行)  
昭和七年十一月二十五日發行

京都帝國大學(東亞天文協會)發行  
花山天文臺內(天文同好會)

寫 眞 に そ へ て

拜啓

昨日は參上、種々御厄介様に相成恐縮千萬に奉存候、御厚配奉深謝候。

今回之件は如何に考へ候ても残念に不堪候。先生を除いては他の何人様よりも要氏を理解し、且つ前途に大きな期待を持ち居候次第に御座候。

餘りにも小膽なりし行爲と、小生の意中の餘りにも無理解なりし事に、寧ろ腹立しく相成申候。否之れも或は小生の不行届なりし事にありしかとも思ひ直しては、只々残念と申より外、辭なく御座候。

品の詩三首同送申上候。宜敷様御處置奉希上候。

要氏最近の寫眞も御座候。恐らくは最後のものと存じ居候。

御使用済の上は御返却の程呉々も御願申上候。

要氏追悼之件、宜敷御願申上候。其件に付て何か御用等も有之候得ば御下命被下度候。

要氏の手紙、歸宅後取調べ候處、大部分は焼捨候始末にて、手許に御用立申上る様のものを今の處見當らず候、尙一應委しく取調べ可申上候。

何れ後便を以て、追悼號への原稿は差出可申候。(中略)

乍末筆、奥様へ宜敷御鳳聲奉希上候。

先は右當用まで、匆々不一

九月二十七日

改 發 香 場

山 本 一 清 先 生

Contents of The HEAVENS No. 140, (December, 1932)

[Memorial Number of the Late Mr. Kaname Nakamura.]

Latest Portrait of Mr. Nakamura (Frontispiece); *Kō-u Kaihotu*, A Tribute, Poems (415); *Issai Yamamoto*, Late Kaname Nakamura (416); *Tuneo Kitamura*, My Cousin Kaname (429); MANUSCRIPTS and LETTERS, 5 articles (437-447); REMINIS-CEN, 27 articles (448-502); TRIBUTES, 28 articles (503-514); The Heavens of December, 1932 (515); Monthly Reports, Observing Section, O.A.A. (519); Reports and Bulletins (525-528).

東 亞 天 文 協 會

---

會 告

---

昭和八年度の會費を御拂込み下さい

昭和七年度の會計も會員諸君の御後援により幸に大過なく本月末を以て締切られます、そして新しい年の發展に資すべき會費を御拂込下さる様用紙を同封致しました。

金額は年 參 圓 です

觀測部の方は部費として年額壹圓貳拾錢を御加算願ひます。

尙、本年末現在で、會費、部費、に過不足のある方に對しては其計算書を、本誌發送と同時に御送り致しますから、それによつて御差引の上御拂込願ひます。

尙、東京、其他の方々に御願ひます。住所が變りましたら何卒早速其旨御通知下さい。

會 計 係

# 天界第140號 (昭和七年) (十二月號) (故中村要氏記念號) 目次

中村要氏 (最近の肖像) .....	日繪寫真
寫真にそへて .....	改發香塲 (同裏面)
謹悼中村要學兄 (詩三篇) .....	須磨改發香塲…415
中村要君を思ふ .....	理學博士 山本一清…416
わが從弟「要」に代りて .....	近江堅田 北村庸夫…429
故中村要氏記念號出版費寄附金(其一、其二) .....	436, 447,

## 遺稿と書信 .....

[1] 寮生活 .....	437
[2] てがみ .....	442
[3] てがみ .....	445
[4] てがみ .....	446
[5] てがみ .....	446

## 追憶 .....

彼の事ども .....	聖田 北村庸夫…448
故中村要氏の英靈に捧ぐ (附、13種による天體寫真) .....	須磨 改發香塲…450
<b>故中村要氏の鏡面製作研究に就いて</b> .....	花山 木邊成磨…452
天文の奇才中村要君を偲ぶ .....	岡山 水野千里…460
中村さんを惜む .....	倉敷 原澄治…464
自力の典型者中村さん .....	諏訪 三澤勝衛…465
中村要氏と凹面鏡の製作 .....	岡山 坂本鑒四郎…468
哀悼黃道光課顧問中村要先生 .....	倉敷 荒木健兒…469
中村さんの思出 .....	仙臺 T. O. 生…471
中村先生の思ひ出 .....	水内 金森丁壽…474
未知の先生 .....	玉島 安原久美子…477
中村さんを憶ふ .....	松本 古畑正秋…477
中村要先生と私 .....	大阪 北村重雄…479
中村さんの追憶 .....	金屋 小槇孝二郎…481

## 追憶 (續き)

Japanese Eagle-Eye! .....	東都にて一友	483
噫!! 中村要先生 (附, 中村氏筆蹟と寫眞) .....	大阪 伊達英太郎	484
「巨星地に墜つ」 (附, 詩) .....	札幌 下保 茂	485
御逝去を悼みて .....	東京女子大 山下 節子	487
中村要君の訃を悼む .....	奉天 西岡水太郎	488
中村先生 .....	松本 上條 情人	489
追憶 .....	花山 島本 一男	490
中村先生の思ひ出 .....	京都 山本 進	492
Reminiscence of a Young Optician .....	神戸 Yasuaki Iba	493
あゝ 中村先生 .....	長野縣 小山 寛一	495
中村兄と私 .....	東京 水谷 新樹	496
中村さんと宮本君と私 .....	廣島 大橋 登潮	497
中村氏の憶ひ出 .....	東京 五藤 齊三	499

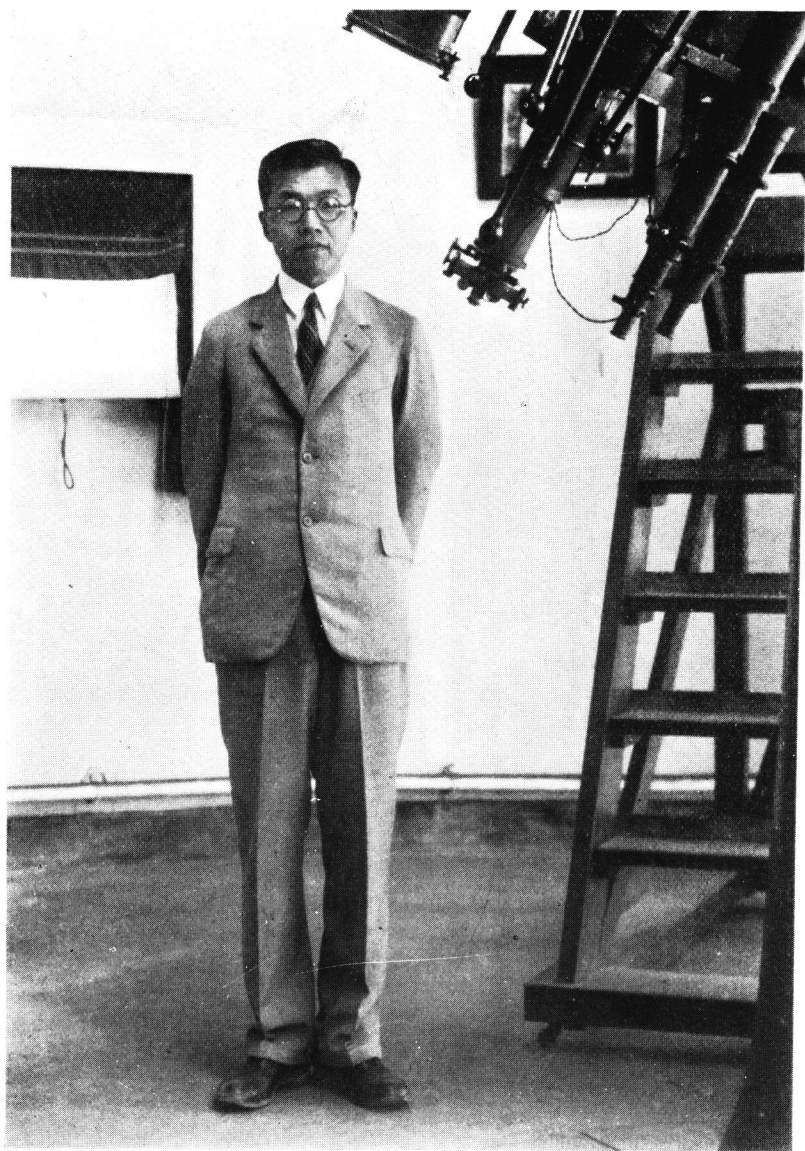
## 弔ひの言葉

佐藤八郎氏 .....	503	佐々木一二氏 .....	507
片山雅彦氏 .....	504	阪本鉄馬氏(二通) .....	507
樞原徳三郎氏 .....	504	古川庄次郎氏 .....	508
山崎正光氏 .....	504	伊達英太郎氏 .....	509
井本進氏 .....	505	森正次氏 .....	509
惠藤一郎氏 .....	505	三澤勝衛氏 .....	509
島本徳三郎氏 .....	505	古畑正秋氏 .....	509
渡邊恒夫氏 .....	506	宮島善一郎氏 .....	510
正本隆男氏 .....	506	今井清氏 .....	511
小横孝二郎氏 .....	506	大坪雄太郎氏(二通) .....	512
中澤登氏 .....	506	西田太二郎氏 .....	513
野尻正英氏 .....	506	射場保昭氏 .....	514
津田雅之氏 .....	507	Prof. Dr. A. Kopff .....	514

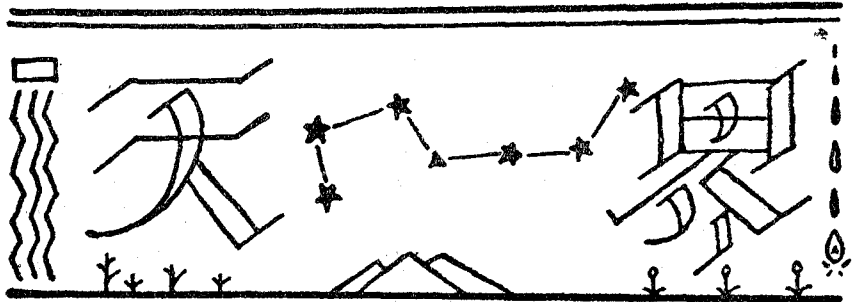
本年十二月の天象 .....

東亞天文協會觀測部月報 (流星, 黃道光, 太陽) .....

天文同好會總會記事, 支部 (東京, 倉敷) 通信, 會員出入 .....



故 中 村 要 氏  
(昭和七年五月二十四日花山天文臺の30種赤道儀室にて)



謹悼中村要學兄逝去

金 闕、猝 然<sup>トシテ</sup>隕<sup>ニ</sup> 巨 星<sup>ヲ</sup>  
 光 芒、散 逸<sup>シテ</sup> 九 天 冥<sup>シ</sup>  
 難<sup>レ</sup> 禁<sup>ニ</sup> 涕 淚<sup>ヲ</sup> 孤 燐、底<sup>モト</sup>  
 幾<sup>ク</sup> 戰<sup>ニ</sup> 悲 風 夜 氣、冷<sup>ナルニ</sup>

同

大 鳳、忽 焉<sup>トメ</sup> 藏<sup>ニ</sup> 九 天<sup>ニ</sup>  
 草 堂 獨 坐<sup>スレバ</sup> 淚 潛 然  
 案 頭 聊、慰<sup>レ</sup> 聞<sup>ニ</sup> 君、教<sup>ニ</sup>  
 夜 夜 重<sup>テ</sup> 繙<sup>ク</sup> 遺 愛 編<sup>ヲ</sup>

同

十 年、苦 學 大 成<sup>ス</sup> 奇<sup>ナリ</sup>  
 卓 犖<sup>ケル</sup> 令 名<sup>ハ</sup> 天 下 知<sup>ル</sup>  
 惜 殺<sup>サシム</sup> 從<sup>レ</sup> 今 君 獨<sup>ヲ</sup> 虧<sup>ク</sup>  
 不 看<sup>ス</sup> 例 會 教 壇、姿<sup>ヲ</sup>

(改發香塲)

# 東亞天文協會

大正九年(1920年)創立, 昭和七年(1932年)改名

會長	山本一清(京都市上京區梨ノ木町)〔電話上5098〕
副會長	水野千里(岡山市門田21)〔關西中學電話 〕
會計監督	池田政晴(京都市左京區岡崎黒谷町11)
幹事	竹田新一郎(大阪府北河内郡香里)〔電話寢屋川41〕
同	稻葉通義(京都帝國大學花山天文臺)〔電話上6165〕
會計	八木敬一(京都帝國大學天文學教室)〔自宅電話下543〕
本部	京都帝國大學理學部天文學教室〔電話上980ノ222〕
倉敷天文臺	岡山縣倉敷市〔電話35〕——原名譽臺長〔電話75〕

御大典記念京都博覽會銅牌受領

顧問 山本一清博士  
指導 故中村要先生

## 天體望遠鏡機械部製造

### 主要なる工作

1. 反射望遠鏡. 7.5センチより25センチに至る經緯臺及び赤道儀の凡ゆる種類.
2. 反射望遠鏡の諸部分品, 約50種.
3. 屈折望遠鏡高級品の組立て.
4. 赤道儀製作
5. 時計仕掛つゝ高級反射及び屈折赤道儀20センチまで.
6. 屈折反射鏡の手入れ及び修理.
7. 望遠鏡に關する一般の工作.
8. 凹面鏡及び凸面鏡鍍銀.
9. 天文臺用ト

當所は自家にて製造する機械工場でありますから御希望の機械工作が出来ま

當所製品については一切の誇大なる廣告は致しません, 詳細については直接御問合せ下さい.

(カタログ進呈)

京都市川端荒神口上ル

## 口製作所

(電話上3187)

天界第百四十號

昭和七年十一月二十四日印刷  
昭和七年十一月二十五日發行

定價金壹圓

郵税金貳錢

編輯兼發行者	京都帝國大學内(振替貯金口座大阪56765)	東亞天文協會(代表者山本一清)
印刷所	京都市中京區柳馬場三條南入	株式會社似玉堂(電本426,427,4501)
印刷者	京都市中京區柳馬場三條南入	福井松之助
賣捌所	東京市芝區南佐久間町2の3	恒星社(振替東京64738)
	東京市神田區錦町1の19	新光社(振替東京43240)



三ノ  
大正九年十二月二十四日第三種郵便特許第... (毎月一圓二十五日發行)

# 山本博士監修

東亞天文協會編  
天文同好會編

◆定價 一圓二十錢 送十二錢料

# 一九三三年版天文年鑑

## 昭和八年版

## 天文年鑑

## 即刻申込み

天文年鑑のもつ權威と信頼とは既に學界の定説となつた。一九三三年版は年内十一月十日一齊に全國に配布される。今年度の年鑑の特色は天文研究の基礎統計と一年間の天象豫報とに主力を注ぎ、毎年重複した統計の大部は割愛した。これこそ明年度の天空旅行のガイドブック、生きた宇宙運動の解説書である。壓縮された内容、軽快な装帧！書齋裡によし汽車電車で翻くによし、觀測には坐右不可缺の伴侶！天文愛好者諸君、一刻も早く諸君のマスコットを手にして、來るべき年の研究プランを確立し賜へ。

ジーンズ著 新物理學の宇宙像 一・八〇  
山本博士著 素人天氣豫報術 一・八〇  
山本博士著 登山者の天文學 一・六〇

山本博士著 星座の親しみ 一・〇〇  
山本博士著 初等天文學講話 二・五〇  
山本博士著 標準天文學 三・〇〇

# 恒星社

東京芝區南佐久間二丁目三番八  
振替口座東京四七三八番  
◇ 圖書目錄呈上 ◇